

【評価実施概要】

事業所番号	170501316		
法人名	社会福祉法人 愛全会		
事業所名	グループホームてんとう虫の家		
所在地	〒005 - 0814札幌市南区川沿14条2丁目3番23号 (電話) 011 - 572 - 8845		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル 601B		
訪問調査日	平成20年12月18日	評価確定日	平成21年1月23日

【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人 非常勤 0人 常勤換算 0人	

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	2階建ての 1~2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,333 円

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	3名	要介護2	0名
要介護3	2名	要介護4	2名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 84.8 歳	最低 74 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人愛全会病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

川沿地区、国道沿いの閑静な住宅街にあり、法人系列の老健施設が隣接していて、系列間の医療・福祉等との提携関係が整っている。2階建て1ユニットのホームは、こじんまりして居間を中心に、1階に4居室、3トイレと浴室が機能的に配置され、明るく、彩りのよい色調が落ち着いた雰囲気と親しみある生活環境を作っている。職員は丁寧で優しく、和みながら声かけを重ねて介護支援に努めている。家族との支援関係に対する情報交換も厚く、家族から高い評価を得ている。地域との関係も親しく、近隣に支えられるホームになりつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との関係の強化、アセスメント方式の改善、終末期対応への検討など課題に応じた着実な改善のあゆみを重ねている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に当たっては、各項目を実務にそった分析をしながら、全職員が日頃の成果を検討して評価を行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議の構成は町内会福祉部長、地域包括支援センター、家族、ホーム責任者からなり、ホーム内・外への行事計画、利用者の生活情報、事故等報告など多彩で、ホーム活動が家族・地域に理解される会議となるよう工夫して開催している。その成果を運営に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議での事故報告、毎月の生活関連報告、訪問時の面接対応など家族からの情報の収集を謙虚に、受け止めようとしている。苦情関連報告や対処の処理簿なども整え記録している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	入居者が町内会のメンバーのように、近隣の散歩での交流や付き合いが深まりつつある。近隣からの贈物に返礼して、旅先でのお土産を届けるような関係もある。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	サービス委員会は基本目標・活動目標・年間計画を検討、地域で安心して暮らすために、との目標を確かめてホーム独自の活動をしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	サービス委員会の検討目標を共有して、日々の実践に活かすよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	確実に地域に支えられるホーム作りを目指して、地域との交流行事等を企画して着実な活動を進めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	関係職員すべてが評価の意義を理解しながら、日常業務に活かすよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定例的に開催され、ホーム内外の生活支援状況、行事活動、事故概況などが資料とともに報告され、参加者から意見や助言を得た活発な会議活動となっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>業務報告を含め行政関連の会合があり、これらの機会での情報交換などを行って運営に活かしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者に応じ、1ないし2ヶ月ごとに家族への便りを送り、生活情報としての写真アルバムや活動状況を報告し、家族の訪問面会には家族の意向や思いを聞き、かつ介護上の承諾などを確認している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時の説明と確認、苦情申し立ての方法や第三者への連絡法などの確認、運営推進会議での家族参加と事故報告を含む活動状況に対する意見の聴取に留意している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職は最小となるよう配慮しているが、利用者に不安を抱かせない配慮と利用者との関係が馴れるまで一人夜勤を控えるなど工夫をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内外の研修の機会には社内の研修計画に基づき、積極的に参加できるよう配慮されている。参加者の研修報告は全員が供覧研修している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>北海道認知症高齢者グループホーム連絡協議会や南区管理者連絡会などの研修交流を重ねて資質の向上を図っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>現状は入所前の馴染みの関係を持つケースは少なく、入所後の対応に全力を傾けているのが実際。家族との関係を密にして生活の連続性などに工夫を重ねている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者本位で自立を支援する基本的な姿勢で臨んでいる。利用者間関係は親和的で、食事の前後の手伝いなどには、多くの利用者が参加できるよう働きかけていて、職員とともに働く和やかな場面は実にほほえましい関係が出来ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日々の生活での思い、意向の情報の収集については家族など意向も含め、細かな配慮に努めて支援に活かしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ホーム職員に役割分担はあるが、全員が相互の連携のもとに月1回のケアカンファレンスで担当ケースの報告と課題を提起して、ケアの方向を確認している。こうして結果を定例・あるいは変化に応じた介護計画の変更などに活かし、見直しを行って家族の承諾を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月が見直しの機会としており、ケアカンファレンスでは見直しの必要性について協議をかさね評価して、計画の変更を確認している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者のかかりつけ医の受診や家族の訪問時送迎、ショートステイなどの支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族や本人の希望に応じたかかりつけ医との関係を大切にして、2週に1回の訪問診療がある。毎週の訪問看護センターの健康診断と医療関係の情報を密にした支援ができ、かつ、同系列の医療機関との24時間体制も確立している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化傾向にある人々の家族・医師とは相談を密にした連携の下に支援を行っている。今後の終末対応はこれからの課題としている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の利用者の個別性や、誇りに対する尊重の態度は徹底しており、誘導や働きかけの事毎にきめ細かな配慮ある態度が示されている。記録管理においてもイニシャル表示など管理が行き届いている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活のリズムやペースを大切に、これに合わせた支援が大切にされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物への同行、食材の持ち運び、調理には各自の力や上手さ、巧みさなどに応じて役が与えられていて、和気藹々のうちに出来上がる食事を楽しみに待つ雰囲気が出来ている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた入浴を支援しているが、だんだん自主的な意向が示されることが少なくなりつつあり、全体の状況把握をしながら入浴支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活経験や趣味、好み、特殊技能などに応じながら、それぞれの得意な和裁・編み物・書道・歌唱などに応じた支援が出来るよう準備して対応している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、ドライブ、外食、喫茶店へ出かけるなどそれぞれに応じた試みをして外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由な出入りを原則的に考えていて、服装チェック表は行方不明の防止に備えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年1回の避難訓練を行い、消防機関との連携、地域の協力関係をさらに進めるよう努めている。防火マニュアルに従った消火器の点検などを行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>飲みやすいカップを用意し、かつ職員も一緒に水分を取ることで、さりげなくモデリングを行うなど水分の確保についての重視と、記録管理による把握を確かにした支援を行っている。食事量や栄養バランスも同様な確認を行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>キッチン是对面式で調理をともに楽しみ、居間中心に季節感のある飾り物の配置、居室とトイレ・浴室・洗面室の配置と動線には、介護しやすい機能性があり、2階には手作り観葉植物の配置と気休めの場がある。採光がよく、湿温の管理もよく、家庭的雰囲気にあふれたホームである。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力も多く仏壇・使い慣れた家具や調度品が配置され、生活の継続感や馴染みのある生活となるような工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。